

# NYマーケットレポート (2024年6月12日)

## 2024年6月12日 (水)

アジア主要株価指数	終値	前日比	年初来%
日経平均	38,876.71	-258.08	16.17%
ハンセン指数	17,937.84	-238.50	5.22%
上海総合	3,037.47	+9.42	2.10%
韓国総合	2,728.17	+22.85	2.75%
豪ASX200	7,715.51	-39.87	1.64%
シンガポールST	3,307.44	-1.77	2.07%
インドSENSEX	76,606.57	+149.98	6.04%

外国為替	終値	高値	安値
USD/JPY	156.89	157.37	155.72
EUR/JPY	169.56	169.59	168.66
GBP/JPY	200.77	200.94	199.95
AUD/JPY	104.50	104.54	103.68
EUR/USD	1.0808	1.0852	1.0735
BRL/JPY	28.908	29.193	28.557
RUB/JPY	1.702	1.724	1.702

欧州主要株価指数	終値	前日比	年初来%
英FT100	8,215.48	+67.67	6.24%
仏CAC40	7,864.70	+75.49	4.26%
独DAX	18,630.86	+260.92	11.22%
スペインIBX35	11,245.40	+69.90	11.32%
イタリアFTSE MIB	34,358.83	+484.35	13.20%
トルコ・イスタンブール100	10,165.52	+114.15	36.08%
ロシアRTS	休場		#VALUE!
南ア全株指数	77,050.81	+973.51	0.21%

Commodity	終値	前日比	年初来%
NY GOLD	2,354.80	+28.20	12.56%
NY 原油	78.50	+0.60	10.07%
CBOTコーン	454.25	+4.75	-3.51%
CRB指数	295.140	+2.390	11.87%
ドル指数先物	104.645	-0.585	3.24%
VIX指数	12.04	-0.81	-3.29%

米主要株価指数	終値	前日比	年初来%
米ダウ平均	38,712.21	-35.21	2.71%
S&P500	5,421.03	+45.71	13.65%
NASDAQ	17,608.44	+264.89	17.30%

Crypto Currency	終値	前日
CME Bitcoin (先物・期近)	68345	67615
XRP (Ripple) [BSTP]	0.490	0.481
Ethereum [BSTP]	3554.69	3486.03
Bitcoin Cash	453.62	447.64

南北米主要株価指数	終値	前日比	年初来%
カナダ・トロント総合	21,961.55	+74.21	4.79%
メキシコ・ボルサ指数	52,975.89	-158.17	-7.69%
ブラジル・ボベスパ指数	119,936.02	-1699.04	-10.62%

オセアニア国債利回り	終値	前日
オーストラリア10年債	4.275%	4.320%
ニュージーランド10年債	4.719%	4.708%
日本国債利回り		
2年債	0.349%	0.373%
10年債	0.986%	1.027%
30年債	2.153%	2.182%

### 6/13 経済指標スケジュール

08:01	【英国】5月RICS住宅価格
08:50	【日本】2Q景況判断BSI [大企業製造業]
10:30	【オーストラリア】5月失業率
10:30	【オーストラリア】5月雇用者数
10:30	【オーストラリア】5月労働参加率
15:00	【ドイツ】5月卸売物価指数
15:30	【スイス】5月生産者輸入価格
16:00	【トルコ】5月住宅販売
18:00	【欧州】4月鉱工業生産
21:30	【米国】新規失業保険申請件数
21:30	【米国】失業保険継続受給者数
21:30	【米国】5月生産者物価指数

欧州国債利回り	終値	前日
英国 10年債	4.125%	4.266%
フランス 10年債	3.136%	3.225%
ドイツ 10年債	2.528%	2.621%
イタリア 10年債	3.917%	4.070%
スペイン 10年債	3.311%	3.407%
米国債利回り		
2年債	4.752%	4.834%
10年債	4.316%	4.404%
30年債	4.475%	4.537%

### 6/13 主要会議・講演・その他予定

- ・イエレン財務長官 講演
- ・NY連銀総裁 講演
- ・米30年国債入札
- ・G7首脳会議 (~15日)

## NY 市場レポート（前日 21 時 00 分～午前 5 時 30 分まで）

### 米国の主要な経済指標の結果

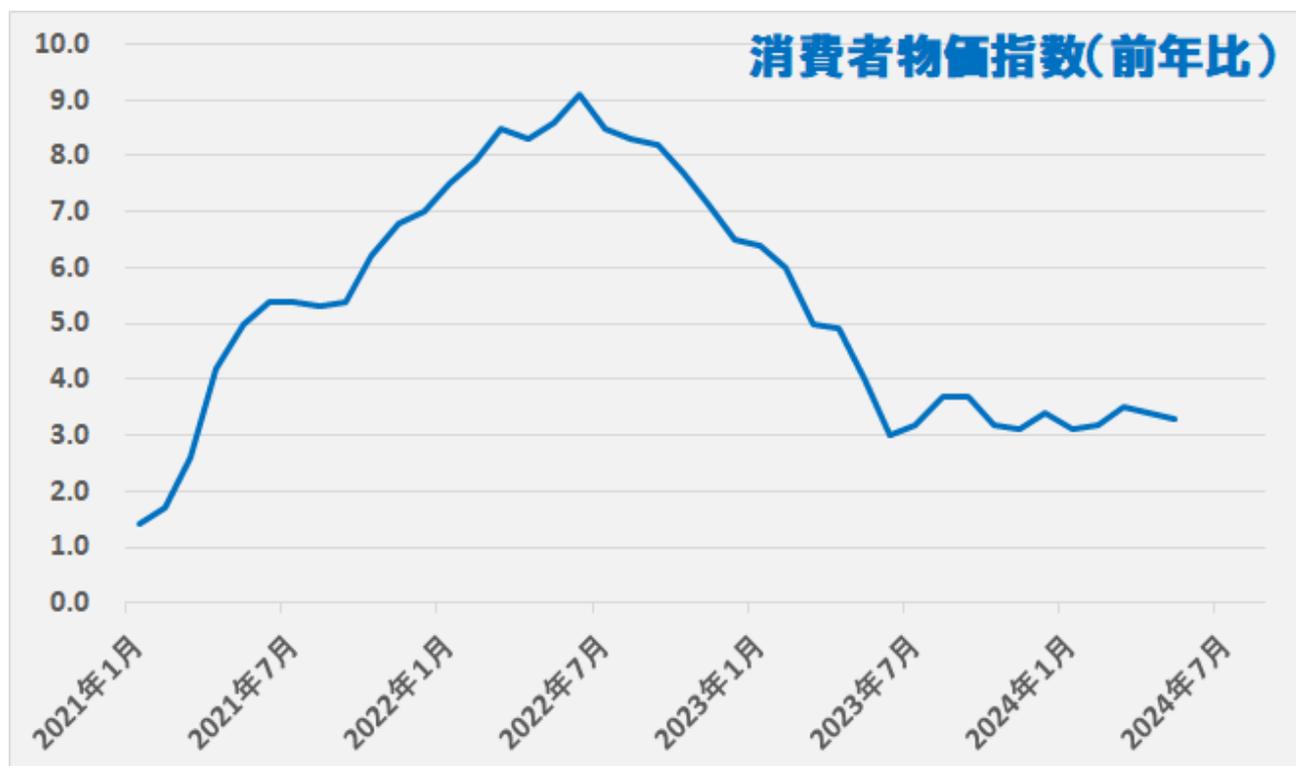
5 月消費者物価指数（前月比）0.0%（予想 0.1%・前回 0.3%）

5 月消費者物価指数（前年比）3.3%（予想 3.4%・前回 3.4%）

5 月消費者物価指数[コア]（前月比）0.2%（予想 0.3%・前回 0.3%）

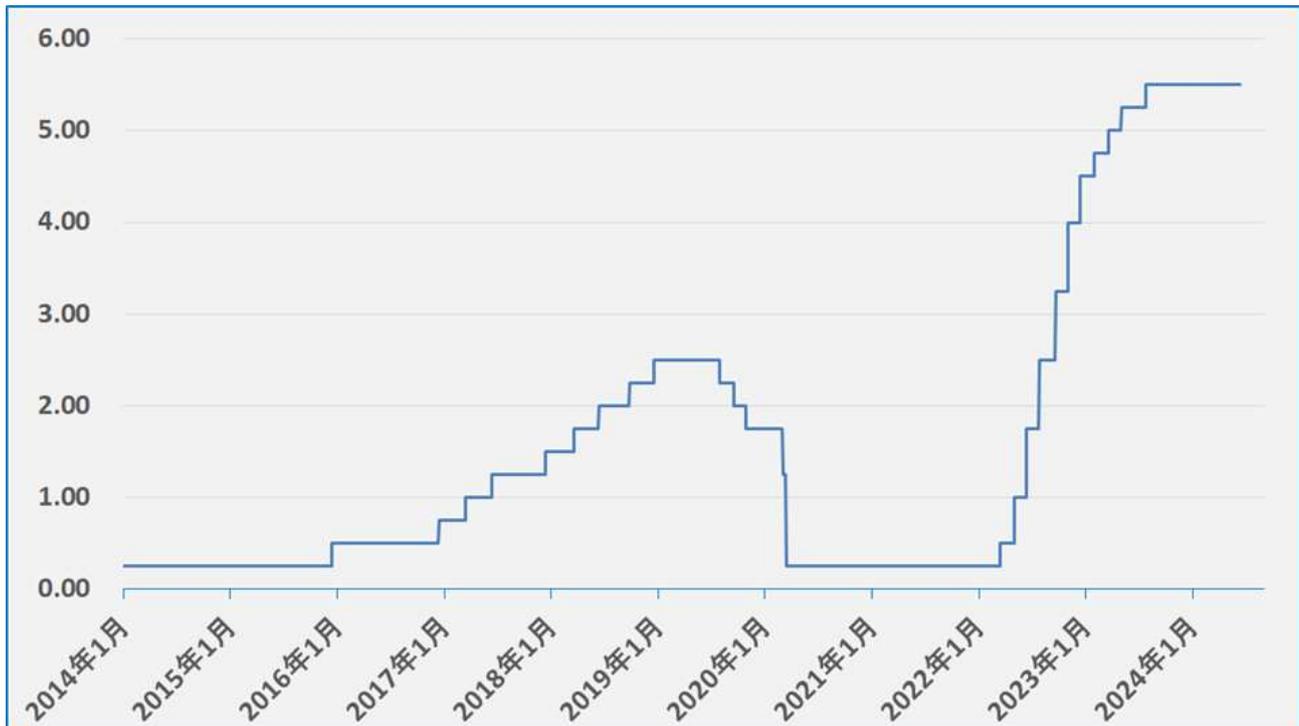
5 月消費者物価指数[コア]（前年比）3.4%（予想 3.5%・前回 3.6%）

5 月の米消費者物価指数は、軒並み市場予想を下回る結果となり、前年比では伸び率が 2 ヶ月連続で縮小した。電気代は前年比+5.9%、住居費は+5.4%、ガソリンは+2.2%、食品は+2.1%となったものの、新車は-0.8%、中古車・トラックは-9.3%となった。FRB がインフレ抑制のため高金利政策を維持する中、物価上昇ペースは落ち着きつつあるものの、依然として高い水準にある。



データを基に SBILM が作成

FOMC 政策金利 5.25%-5.50% (予想 5.25%-5.50%・前回 5.25%-5.50%)



FOMC では、主要政策金利である FF 金利の誘導目標を 5.25%-5.50% で据え置くことを決めた。金利の維持は 7 会合連続となった。また、メンバーの経済見通しでは、年内の利下げ回数の予想が 3 月時点の 3 回から 1 回に減少となった。

### FOMC の主な声明

- ・ 最近の指標は経済活動が引き続き堅調なペースで拡大していることを示している
- ・ 雇用の伸びは引き続き力強く失業率は依然低い
- ・ 雇用の伸びは引き続き力強く失業率は依然低い
- ・ ここ数カ月間委員会の 2% のインフレ目標に向けて緩やかな前進が見られた
- ・ 委員会は雇用最大化と長期的な 2% のインフレ率の達成を目指す
- ・ 雇用とインフレ率の目標達成に対するリスクのバランスがこの 1 年で改善に向かっていると判断する
- ・ インフレ率を 2% の目標に戻すことに強く取り組む
- ・ 融政策の適切な姿勢を評価するに当たり今後もたらされる経済見通しに関する情報の意味を引き続き監視する
- ・ 回の金融政策決定は全会一致

## パウエル FRB 議長の会見での主な発言

- ・インフレ率は依然として高過ぎる
- ・消費は鈍化しているが依然として堅調
- ・労働市場の状況はコロナ禍前に戻る
- ・インフレ指標は幾分鈍化
- ・今年は今のところインフレ鈍化の一段の確信得られる
- ・インフレで確信強めるにはさらに良好なデータが必要
- ・さらに良い指標を確認する必要
- ・インフレ持続なら適切な限り現行水準で政策金利維持
- ・今日の CPI 指標は歓迎されるものでそのような数字をさらに望む
- ・PCE 物価指数で 2.6、2.7%ならば良い状況だ
- ・参加者全員が経済指標次第と言及
- ・利下げ開始の確信を得られず
- ・将来の会合について前もって決定せず
- ・金融政策は景気抑制的で十分抑制的かは時間が経てば判明
- ・金利はコロナ禍前水準に戻らないと考え始めた

## ダウ平均は続落、ナスダックは3営業日続伸

米株式市場では、5月の米消費者物価指数が市場予想を下回ったことを受けて、FRBの利下げ開始時期が早まるとの見方から主要株価指数は序盤から堅調な動きとなった。ただ、年内の利下げ回数見通しが1回に減少されたことを受けて、高金利政策が長期化するとの見方から売りが優勢となり、ダウ平均はマイナス圏まで下落した。ただ、米長期金利が大幅低下となったこともあり、金利動向に敏感なナスダックは底固い動きが続いた。ダウ平均は、序盤に前日比372ドル高まで上昇したものの、その後は下落に転じて一時125ドル安まで下落した。終盤に下げ幅を縮小して35.21ドル安（-0.09%）で終了。一方、ナスダックは264.89ポイント高（+1.53%）で終了した。



セクター別変動率(ダウ平均)			個別の変動率(ダウ平均銘柄)		
	セクター	変動率		銘柄	変動率
1	エネルギー	-1.45%	1	ナイキ	-2.28%
2	消費財	-1.29%	2	セールスフォース	-2.15%
3	通信サービス	-0.93%	3	ベライゾン	-1.61%
4	資本財	-0.55%	4	ピザ	-1.58%
5	ヘルスケア	-0.54%	5	ボーイング	-1.53%

データを基にSBILMが作成

## ドルは下落後に反発する動き

NY市場では、序盤に発表された5月の米消費者物価指数が市場予想を下回る結果となったことを受けて、米長期金利の急低下とともにドルは主要通貨に対して下落となり、ドル/円も序盤の157.35から155.72まで下落した。その後、FOMCで予想通りに政策金利が据え置かれたものの、メンバーの政策金利見通で年内の利下げ予想回数が3回から1回に減少したことが明らかとなり、米金利が低下幅を縮小したことや、パウエルFRB議長が記者会見で「インフレは大幅に緩和したが、依然として高すぎる」と発言したことからドル買いが優勢となり、ドル/円は終盤にかけて156.90まで値を戻した。



出所：総合分析チャート

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様自身でお願いします。